



町生涯学習センター・図書室

☎ 096-234-2447 (内線331)

- 開館時間 午前9時～午後5時
- 休館日 毎週火曜
年末年始
- 貸出冊数 1人5冊まで
- 貸出期間 15日間



▲猫の日特集コーナーにぜひお越しください

「猫の日」特集コーナーの紹介

2月22日(ニャンニャンニャン)は猫の日。1987年に定められた記念日です。実は、世界各国でもそれぞれの猫の日が制定されています。ヨーロッパの多くの国は2月17日、International Cat Dayは8月8日

です。古来より猫は、鼠害(そがい)から穀物を守る益獣として人間の生活に密接に関わり、そして癒しや喜び、幸

せを与えてくれる存在として愛されてきました。そこで今月は「猫の日」特集コーナーを作り、猫を題材とした本を紹介しています。猫好きさんはもちろん、そうでない人もぜひ、読んでみてください。

0歳児からのおはなし会について

図書室では、毎月第2木曜日に「0歳児からのおはなし会」を行っています。絵本の読み聞かせや、手袋人形、手遊びうたなど楽しい内容です。子育て中の保護者の皆さん、おじいちゃん、おばあちゃんも子どもたちとお気軽にご参加ください。

日時

2月8日(木) 午前10時30分～

会場

おはなしのへや(甲佐町生涯学習センター・図書室内)

新着図書紹介

小説



奥州狼狩奉行始末

東圭一 著/角川春樹事務所

第15回角川春樹小説賞受賞作。江戸時代、馬産が盛んな地域にとって、狼害は由々しき問題だった。そのため奥州には狼を狩る役「狼狩奉行」が存在した。狼狩を通じて描かれる自然と人。時代小説に新風を吹き込む静謐な世界。



スピノザの診察室

夏川草介 著/水鏡社

京都の地域病院で働く内科医・雄町哲郎は、かつては大学病院で数々の難手術を成功させ、将来を囑望された凄腕医師だった…。命に寄添う医療現場の人々、自分の命と向き合う患者たち。心に沁みる読後感のおすすめの1冊。



絡新婦の糸 警視庁サイバー犯罪対策課

中山七里 著/新潮社

ネット界随一の情報屋「市民調査室」。ある日を境に投稿にフェイクが混ざり始め、ネットリンチを扇動するように。サイバー犯罪対策課・延藤はその足取りを追うが、ついに現実世界で死者が出て…。一気読みのSNSサスペンス。

児童書



大ピンチずかん 2

鈴木 のりたけ 作/小学館

人気絵本シリーズ第2弾。たんじょうびケーキがたおれそう。おべんとうをわすれた…。こどもが出あう世の中の様々な「大ピンチ」を、大ピンチレベル順に紹介。大ピンチになる理由がわかる大ピンチグラフもある楽しい絵本。



十年屋7 タイムセールいたします

廣嶋 玲子 作/静山社

大切なものを10年間、魔法で預かる不思議なお店「十年屋」。十年屋のマスターは片づけが最大の苦手。物があふれかえる店内に、執事猫カラシの堪忍袋が大爆発して…。人気シリーズの第7巻は、心あたまる5編の物語です。



おしまい図鑑 すごい人は最期にどう生きたか?

真山 知幸 著/笠間書院

ベッドの上でも仕事を続けたナイチンゲール、62歳で天職に出会ったガウディ…。さまざまな分野で活躍した「すごい人」たちが人生の晩年をどう過ごし、どんなふうにして人生を終えたのかを紹介する。大人も一緒に読める1冊。

公民館 だより

■お問い合わせ先

町教育委員会公民館事務局

☎096-234-2447 (内線321)

▶町公民館からのお知らせ

第27回公民館大会を開催します

- 開催日時 3月2日(土) 午前9時00分開会
- 会場 町生涯学習センター・ホール
- 講師 大腸肛門病センター高野病院
内視鏡センター長 中村 寧さん

令和5年度公民館主催講座 ステップアップ講座を開催



▲村上さんからスワッグ作りの説明を受ける参加者の皆さん

甲佐町公民館では、町民の皆さんの教養の向上や、健康の増進を目的に公民館主催講座を開催しています。

12月21日(木)町農業研修センター「ろくじ館」で、公民館主催講座(ステップアップ講座)を開催しました。

村上光治さん(下豊内区)を講師に迎え、地域住民ら20人が、お正月用のスワッグ作りを体験しました。

スワッグとは、ドライフラワーなどを束ねた壁飾りのこと。参加者は村上さんの指導をうけながら、マツやナンテンなどを組み合わせ、オリジナルスワッグ作りに挑戦しました。

参加者は「村上さんが、丁寧に作り方を教えてくれて、上手にできました」と笑顔を見せました。最後に、壁飾り用の金具を村上さんに付けてもらい「早速、玄関に飾ります」と話しました。

人権 心豊かに暮らすために

町生涯学習センター図書室「人権コーナー」のご紹介

■図書室では、約190冊の「人権に関する本」を所蔵

今回は、その中から2冊ご紹介し、ぜひご覧ください。

『ぼあちゃんのリヤカー』編・堀内忠
編集された堀内忠さんは、次のような願いを込められています。

「この絵本は、人権教育に取り組んでいる教師たちから「中山のぼあちゃん」と慕われていた中山コイトさんが部落差別と闘いながら、子育てをしてきた生きざまの記録です。その語りを教師たちが地元教材としてまとめた『ぼあちゃんのリヤカー』をもとに編集させていただきました。戦後日本の復興のために生きてきた親たちの姿を若い人にも知ってもらいたいと思い、絵本『ぼあちゃんのリヤカー』を発刊することにしました。私たちの思いを受け止めていただき、次の世代の人々に伝えられることを願っています。」

『SDGs』監修・蟹江 憲史

SDGsとは? 「持続可能な開発目標」
長い歴史の中で世界は発展を続け、日本も豊かな国になりました。しかし



▲町生涯学習センター図書室内の人権コーナー

今も貧困や差別に苦しんでいる人がいます。日本でもこの貧困や差別の問題が大きくなっていく可能性があります。このままなにもしないでいると、地球と人類の存続が危ぶまれます。
(人権に関するSDGs)
「誰ひとり取り残さない」ことを掲げているSDGsは、人権(自由権・平等権・社会権)とも深いつながりがあります。

●お問い合わせ先

町社会教育課

☎096・234・2447

(内線327)